

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO

3

March 2020
No.805



「キッズフェスティバル2019in いといがわ」(糸魚川市)

看護体験で、赤ちゃんのお世話について学びました。

4~5

特集

「全国公民館セミナー 参加者レポート」

CONTENTS

- 2………… トピックス 「文部科学省 優良公民館賞受賞」
- 3………… 視 点 「公民館は永遠に」新潟市中地区公民館 館長 鷲尾 雄二
ひろば 「にこっとクラブ」にこっとクラブ コーディネーター 工藤いく子
掲 示 板 「令和2年度の主な会議・大会予定」
- 6………… 実践記録シリーズ 「家庭教育セミナー～ママのためのリラックスタイム～」 田上町公民館
- 7………… サークル交流 「漢方アロマを使って体に優しい骨盤体操」(三条市)
「巻地区公民館 毎月第3火曜日活動」(新潟市)
素 顔 拝 見 望月 正樹さん(妙高市) / 入澤 志生さん(柏崎市)
- 8………… お元気ですか 「市民の山登り愛好者と歩んだ二十年」 見附市・広瀬 仁さん
information シニアカレッジ新潟 令和2年度学生募集
ネットワーク 令和元年度 第2回評議員会・第3回理事会開催

TOPICS

文部科学省 優良公民館賞受賞

令和元年度第72回優良公民館表彰式が2月14日(金)に文部科学省講堂で行われました。表彰は全国75館で新潟県は三条市下田公民館と新発田市中央公民館が受賞しました。また、このうち特に優れた5館に与えられる優秀館に下田公民館が選ばれました。

三条市下田公民館 公民館の概要

広い下田地区において、外出が億劫になり自宅に閉じこもりがち高齢者が増えている(高齢化率34.2%)ことに関する危機感から、地域の高齢者が孤立しないように「出張型きつかけの1歩事業」を展開している。公民館職員が、各自治会の所有する集落センターなどに出向き、住民の学習促進や総合交流、生きがいづくり、コミュニティの活性化を図り、過去4年間で64ある地区の集落のうち36の集落が参加している。

○優良公民館表彰「優秀館」を受賞して
優秀公民館 三条市下田公民館の取組について

三条市下田公民館 館長 恋塚 忠男

三条市では、高齢者の外出機会を促すために、「きつかけの1歩事業」に取り組んでいます。これは、①突拍子もないプログラム(TPP)、②参加費〓無料、③お茶会の開催などを取り入れた講座になります。このきつかけ、情報提供↓外出機会・参加↓プチボランティア(体験機会)↓社会参画活動↓担い手・支え手と社会参画の手段の周知を図り、長寿

社会における地域の課題解決に取り組んでいます。この事業を地域の実情に応じて取り組んでいるのが、下田公民館の「出張型

「出張型」



下田で名曲歌謡ショー



ちょこっと小物作り

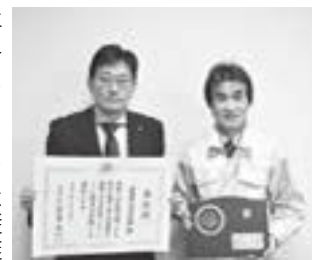
きつかけの1歩事業になります。下田地域は、最寄りの公民館まで16km離れている、冬は雪が2m以上積もる等、地理的な課題がある中、比較的、家に閉じこもりがち高齢者の方々に学びの機会を設ける活動として、集落の集会所へ公民館職員が積極的に出向いて様々な講座を行っています。

この受け身・待機型ではない出張型に加え、講座の後には「お茶会」を設け、参加者同士の学習の振り返り・情報交換など、地域のコミュニティづくりと地域のニーズをしっかりと公民館職員が情報を収集し、参加者の琴線に触れる講座は何かを考え、次に生かしています。

高齢者をはじめ、市民のみなさんが明るく、楽しく、元気よく、日々過ごしていけるために、身近な公民館となるよう取り組んでいます。

新発田市中央公民館 公民館の概要

平成28年度から実施している「防災キャンプ」は、平成30年度には新発田市内全小中学校を対象に行なった。自然災害がいつどこで起きてもおかしくない現状において、防災に関する知識を



米山淳館長と 担当の荒木一成運営企画指導員

身に付けるとともに、避難所宿泊体験や応急処置体験など模擬災害体験などを通して、自分の命を守るだけでなく、他人との助け合いや協力する力を育むなど、主体的・対話的で深い学びにつながる事業である。

また、様々な主催・共催事業の中で、NPO法人、各種登録団体と連携し、多様な活動プログラムを計画・実施し、学習環境を整備している。

受賞をうけて米山淳館長は、「活動を通して新発田の自然や環境について学ぶことで、子どもたちがここで生まれてよかったと思えるよう努めていきたい」と期待を述べておられました。

三条市下田公民館 新発田市中央公民館・関係者の皆様、受賞を心からお祝い申し上げます。おめでとつございました。(広瀬)

「新潟県公民館だより」 毎回 25 日発行
いつでも申込み受付中 (4月・6月・8月・10月・12月・2月)

公民館月報 定価1部 160円 年間 960円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711



伸びしろいっぱい! 「にこっとクラブ」

にこっとクラブ コーディネーター
工 藤 いく子

村上市山北地区で放課後子ども教室「にこっとクラブ」のコーディネーターをしています。少子化による小学校の統廃合で、山北地区の小学校は遂に1校だけになってしまいました。寂しい現状ではありますが、そんな状況の中で私たち大人はいったい何ができるのか?悩みながらも目の前にいる子ども達と過ごす時間はとても楽しいひと時です。

「にこっとクラブ」には現在1・2年生の児童21名が参加しています。とにかく元気なでぎやかな子ども達!けんかもしょっちゅうです。6月に大きな地震があった時は心配しましたが、幸い子ども達に変わった様子はなくホッとしました。

ある日、大げんかして帰ったふたりが、次の時には仲良く遊んでいた。私が忘れていたことを「いく子さん、この前こう言ってたよと教えてくれる子がいたり、子どもって大人が思ってる以上に自力でやれるし、私たち大人の言動をよく見ていることに気づかされて、ハツとすることがよくあります。私も子ども達もたくさん学んでいます。

私は「にこっとクラブ」を通じて子ども達に「みんなは仲間だ!」と感じてほしいし、「協力するって楽しい!」をたくさん体験してもらいたいと思っています。



視点



新潟市中地区公民館
館長 鷲尾 雄二

「公民館は永遠に」

新潟市では、市民が利用できる施設がずいぶん増えました。40年前は公民館くらいでしたが、コミュニティセンターは公民館より多くなり、立派な市民(文化)会館もあちこちに建ちました。ここでは日々サークル活動や様々な会合が行われています。

民間のカルチャースクールも花盛り。人気講師を揃え、新聞折込みのカラーチラシが「楽しいよ、あなたもどうぞ」と手招きしています。

さて、ある日の公民館。ゆりかご学級が開催されています。保護者アンケートには切実な思いが綴られます。「大人のひと本当に久しぶりに話ができました」「すごく悩んでいたけど、うちだけじゃないって気が付いてすごく楽になりました。子育てに煮詰まり、張り詰めていた心がゆっくりほぐれます。新たな気づきももたらします。この人たちにとって公民館の家庭教育学級の意義はとても大きい。

魅力ですが、採算を度外視して地域課題を解決してくれるとは思えません。

令和2年度の主な会議・大会予定

掲示板 HOT NEWS

- 役員会
 - 1 評議員会
 - 第1回 令和2年5月15日(金)新潟市・午後
 - 第2回 令和3年2月10日(水)新潟市・午後
 - 2 理事会
 - 第1回 令和2年5月15日(金)新潟市・午前
 - 第2回 未定
 - 第3回 令和3年2月10日(水)新潟市・午前

- 3 監事会 令和2年5月8日(金) 新潟市・午後
- 4 公民館だより編集委員会 令和3年2月 新潟市・午後
- 5 県公民館大会 令和2年9月25日(金) 十日町市越後妻有文化ホール「団しろろ」
- 6 全国・関プロ公民館研究集会 令和2年11月19日(木)～20日(金)千葉県船橋市
- 7 全国公民館セミナー 令和3年1月 国立オリンピック記念青少年総合センター

特集

「全国公民館セミナー」参加者レポート

「全国公民館セミナー」が令和2年1月29日(水)～31日(金)に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に行われました。講師が一流で研修の内容が充実していることから、毎年全国から多くの参加者が集まります。新潟県からは5名の方が参加しました。セミナー終了後にレポートを提出していただきましたので、紹介します。

〈参加者〉

入澤 勇太さん(刈羽村公民館)
 加茂川真理さん(上越市教育委員会社会教育課)
 今城 敬子さん(新潟市西地区公民館)
 片桐 康正さん(新潟市東地区公民館)
 栗原 大輝さん(新発田市中央公民館)

全国公民館セミナーに参加して

刈羽村公民館 館長 入澤 勇太

公民館とは？常日頃考えていることですが、改めて深く考えることができた3日間となりました。中でも印象的だったのは公民館の機能(寺中作雄著)についてです。1、公民館は、社会教育機関である。2、公民館は、社会娯楽機関である。3、公民館は、町村自治振興の機関である。4、公民館は、産業振興の機関である。5、公民館は新しい時代に処すべき青年の養成に最も関心を持つ機関である。要するに公民館は社会教育、社交娯楽、自治振興、産業振興、青年養成の目的を総合して成立する地域の中核機関である。というお話がセミナー内でありました。一般的に公民館は教育のイメージが強く、よく社会教育法第23条

が取り上げられますが、文部科学省の解釈を読み解き、自治振興や産業振興としての機能をもっと発揮し、社会教育と学校教育とのハブ的機能は勿論のこと、産業と深く絡まり合うことで地域の中核機関としての機能や地域運営組織の活動拠点としての役割も可能になるのではないのでしょうか。つまり公民館の「ヤカタ」いわゆるハードとしての機能や考え方はなく、ソフトとしての公民館の機能を最大限に発揮し、これからも地域の中核機関として常にワクワクしながら地域づくりに貢献していきたいと思えます。最後にこの様な素晴らしいセミナーを開催していただき、県公連をはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



これからの「公民館」のあり方

上越市教育委員会 社会教育課 加茂川真理
 入庁3年目、昨年まで共生まちづくり課市民協働係だった私は、公民館や公共施設、行政のあり方に疑問を感じていた。今回のセミナーで聞いた事例や、講師の「公民館はあまりにも『教育』になっっていないか」、「社会教育に目的はない」「本来はもっと『自由』という言葉は、迷いを『目指すべき方向性』に変えた。

厳しい財政事情や、社会の変化に対応するため、公の施設や事業の見直しは喫緊の課題だが、公民館の「コミセン化問題」を例にとれば、縦割り行政の弊害や市民目線の欠如に気が付く。「公民館は社会教育施設であり、「コミセンとは違う」という考えは理解できるが、恐らく市民にとってその違いは問題ではない。どの法令に基づくか、どの課が所管しているか、設置の趣旨・目的は何かよりも「誰でも使える、自分も使える、身近な場所」であるということが大切なのだ。違いを理由に限られた人・金を奪い合うのではなく、共存するための方法を探らなくてはならない。

これからの時代、公民館に必要なのは講座でも、建物でも、名称でもなく「つどい・まなぶ・むすぶ」という機能と、地域の拠点・住民の居場所としての役割だ。その器は、「コミセン」学校、空き家、公園、なんだっていい。

人や地域と丁寧に向き合い、既存の枠組みにとらわれず、内外とよく連携しながら、できることをする。その中で「学び」の軸を大切に、どう位置付けるかを考えられる公民館こそが地域の核となっていくのだろう。

これからの公民館と公民館職員として

新潟市西地区公民館 今城 敬子

公民館職員となり4年目になります。1年目は与えられた仕事を必死にこなし、2年目、3年目と年を経るごとに「公民館の役割とはなんだろう」「これでもいいのか?」と考えることも多くなりました。最近もモヤモヤすることが多い私に、これから公民館職員としてどのように考え、行動していけばいいのか、今回の全国公民館セミナーは改めて考えるきっかけを与えてくれました。

1日目の「先進事例に学ぶこれからの公民館運営」では、2つの公民館の事例発表がありました。公民館職員はいないが、地域の様々な組織が連携しているような活動を行っている稲生公民館の事例。公民館という建物・組織を抛り所として、地域住民の主体的・継続的な活動を後押ししていく若狭公民館の事例。タイプの違う2つの公民館の先進事例でしたが、どちらにも共通していることは、「学び」を拠点として「地域住民の主体性」により公民館活動が継続しているという点です。

3日目の「公民館を地域づくりの基盤に」と題しての牧野教授のお話では、地域コミュニティの力が衰退している現在だからこそ、いろいろな社会問題が浮き彫りになっており、社会の「はぎま」を埋める重要性が語られました。ぼやっとした「ちいさな社会」をたくさんつくっていくことが現在に即したコミュニティの在り方であるのではないかと、そして、予測不能な不穏な未来に立ち向かっていくためには、社会教育を担う公民館の役割はとて大きく、場合によっては未来を左右する力を持つ重要なポジションにいるのだと感じました。

これからも大いに悩み、失敗もあると思いますが、「学び」と「地域住民の主体性」を念頭に、公民館職員としてのスキルを磨いていきたいと思います。

公民館を育てる職員に

新潟市東地区公民館 館長 片桐 康正

「新しい時代の公民館戦略を考える」をテーマに、第31回全国公民館セミナーに参加する。

参加者は、全国から正規、非正規を問わず自治体、NPO法人など公民館職員およそ100人が集まる。

1日目、「先進地の事例紹介」沖縄「若狭公民館」と高知「稲生公民館」の事例から地域活動について学ぶ。

2日目、「ワークショップ」インターネット上に動画を活用した広報の手法を学ぶ。半日かけた体験活動は、班ごとにタブレットで撮影編集した活動記録を全員で鑑賞しあう。

3日目、「講義」平均寿命が100歳まで届く近未来「公民館を地域づくりの基盤に」をテーマに、子供を取り巻く環境、人口減少、高齢化社会などの課題に公民館はどのように地域活動を展開すればよいか。東京大学牧野篤教授の講義を聴講する。

セミナーに参加した所感は、現代的課題に取り組む公民館の姿勢について、生涯学習で培った経験を活かし、公民館を軸に地域を元気づかかせてほしいという国の強い期待を感じる。

反面、「そのとき公民館の職員は、だれがふさわしいですか?」と問われている。物言わぬ公民館は、職員を選べない。公民館にふさわしい職員は、だれか? 教育委員会? 首長部局? NPO法人? コミ協? それとも…。

地域に開かれた公民館、そのイスを狙うライバルは、すぐ隣にいる。

全国セミナー研修で印象に残った研修内容の感想

新潟市中央公民館 栗原 大輝

今回の研修で印象に残った内容は、公民館の広報戦略についての研修です。公民館の活動について詳しいことまで知っている住民の方は多くないのではな

いかと思います。実際に、私も公民館で働かなければ、どんな活動をしているか分からないままだったと思います。公民館の活動や魅力を広げるためにも、広報活動を積極的にしていくことが、これからの時代必要であると思わされる研修でした。では、どんな広報戦略があるかという事ですが、この研修ではSNS・動画サービスについて多く触れる機会がありました。

私は動画作成について非常に手間がかかり面倒なものであるという印象を持っていました。しかし、この研修でイメージを変えることができました。なぜなら、スマートフォンやタブレット一つあれば動画を作成できてしまうからです。実際に研修の中で班の皆様と試行錯誤はしましたが、数時間で動画の撮影、編集を行いタブレット一つで作成することができました。動画は写真や文章よりも伝えることのできる情報が多いと思います。そのため、使いこなすことができれば、非常に優れた広報手段になると感じました。今後、この研修で習ったことを活かして、広報というものをより意識して仕事に従事していきたいです。



実践記録シリーズ

264

家庭教育セミナー

～ママのためのリラックスタイム～

田上町公民館

背景

全国的に少子化傾向が進んできている中で田上町は、平成29年の出生数は46人(出生率3.9)と少なく、合計特殊出生率が平成28年に0.90と1.00を割り込み、平成29年では全国が1.43に対して0.97と2年連続で1.00を下回っている状況です。以前から町は様々な少子化対策を実施して参りましたが、なかなか思うように好転してきていないのが現状です。そこで、少子化対策の中でも、子育て環境の整備をより多く実施するため、公民館事業として取り組んでいた家庭教育セミナーを使って何かないかと検討して実施することになりました。

目的

毎日子育てでがんばっているママさんのために、少しでも癒しの時間を確保できるように、足つぼマッサージを体験してもらった企画した内容です。



結果

一組ずつ時間を決めてマッサージを受け、普段なかなか出来ないマッサージでもリラックスできた、身体の不調なところを教えてもらい、いい機会になったと好評でした。待っている間でも預かっている子どもどうして遊んだり、他のママから子育てに関する情報を聞いたりして過ごしていただけで大変良かったと感じました。また、保健師による相談はママにとっても保健師にとっても直接話を聞いたり質問できたりと子育て相談することができました。

今後

この事業では、ママたちの困り感を直接聞ける良い機会であり、町の保健師と連携して子どもの発達状況や見守り方などの相談ができることから、町の保健師の他にも子育て支援センターとも連携した事業の形に発展できたらと思います。

内容

足つぼを施術する先生から町内在住の乳幼児0歳から3歳の未就園児を持つ親子10組を対象にその保護者(ママ)に15分間足つぼマッサージを施術するものです。

施術中は、お願いした保育士とボランティアの方から乳幼児を遊ばせてもらいながら保育したり、絵本による読み聞かせを行ったりしてママを子どもから離してリラックスしてもらい、マッサージ後は町の保健師(所属課は保健福祉課)と子育てに関することや健康に関することなど相談にのります。





漢方アロマを使って
体に優しい骨盤体操

ルンルンサークル

公民館の講座終了後、昨年4月からサークルとしてスタートした団体です。栄公民館を会場として、毎月第2・第4水曜日の午後2時から3時までの1時間活動しています。

講師の田中りか先生(漢方アロマケアトレーナー)の指導のもと、季節に合った漢方アロマオイルを使用し、各自で行うセルフケアと他者に行うタッチケアの体操です。

私達現代人が、心身の不調や病気を引き起こす原因の一つであるストレスを和らげるきっかけとして、漢方アロマを生活の中に取り入れ、骨盤調整セルフケアや簡単なヨガの



ポーズ・自然哲学のメメ知識も学びながら、リラククス効果やケア後の身体の心地よさを体験・実感していただけです。無理なく楽しく、誰でも出来る体操教室です。ぜひ一度、見学・体験に来てみてください。

三条市・ルンルンサークル
吉田あけみ 記

巻地区公民館
毎月第3火曜日活動

ミュージックセラピーの唱

「ミュージックセラピー」を活用した放課後支援活動「世代間交流活動」として平成27年度から活動しています。子どもたちの次のような成果を期待して活動しています。

○情緒の安定 ○身体機能の

維持向上 ○個性や長所を引き出す ○自信をもって自分らしく生きる ○生活の質の向上などです。

実際の活動は、歌唱、楽器演奏、鑑賞、軽度身体活動等を参加の子どもたちの心の状態や体調に合わせてセラピストがプログラムを組みます。使用する音楽は、季節の音楽、童謡・唱歌、学校の教材、子どもたちの好きな曲等から選曲します。CD等は使わず、グランドピアノの伴奏でテンポや音量を工夫しながら、生の音楽で活動を進めます。2名の音楽療法士と保育士で子どもたちの様子を見守りながら臨機応変に活動を進めています。継続した活動で、それぞれの子どもの行動変容は著しく、子どもも大人も一緒に交流しながら楽しんでいきます。



新潟市・ミュージックセラピーこころのうた



妙高市公民館(妙高市教育委員会生涯学習課)
生涯学習指導員 望月 正樹さん

公民館事業を担当する望月正樹さんを紹介いたします。

望月さんは、生涯学習指導員として、平成31年4月からお勤めいただいています。

前職は、小学校長をお務めで、「社会教育主事」の資格もお持ちのとても頼もしい先輩であることから、相談にも気軽に乘っていただき、的確なアドバイスと穏やかな笑顔に、いつも助けられています。

望月さんが担当する「妙高はねうまカレッジ『まなびの杜』」は、市民の皆さんに広く「まなび」の機会を提供することを目的とした生涯学習講座で、多くの受講生を集め、大変好評です。

まもなく着任から1年間が経過しますが、次年度の開講に向け、ますます意欲的に「学び」の計画づくりに取り組んでいます。

また、地元地域では、自治会長としても活躍するなど公私ともに多忙な毎日をお過ごしです。

(妙高市公民館(妙高市教育委員会生涯学習課)山口 修 記)



素顔拝見

柏崎市文化・生涯学習課 学習推進係
主事 入澤 志生さん

柏崎公民館(柏崎市民プラザ)で、毎日奔走中の入澤志生さんを紹介いたします。

新採用職員として現在の係に配属になって早3年。柏崎公民館講座「エイジレスコース」、東村山市・東久留米市と行う体験交流事業「なごさ体験塾」の企画・運営を担当。持ち前のセンスと器用さ、すぐにひらめく明晰な頭脳、登山やマラソンも難なくこなす丈夫な体を駆使して、新しいもの、わくわくするものを次々と生み出してくれます。そしてどんなときも活動の輪に自然に溶け込み、受講生や子どもたちの気持ちになって考えることを忘れません。

市民プラザのマスコット「しみぷう」の生みの親でもあり、館内のものはほぼ作れる腕利き職人。市吹奏楽団ではトランペット、バンドではキーボード、柏崎の夏を賑わす「ぎおん柏崎まつり」の民謡流しでは法被姿で笛を操り、まちを盛り上げています。

一人何役もこなす入澤さん。見た目は、女優・高畑充希です。

(柏崎市文化・生涯学習課 竹田貴美香 記)



ネットワーク

- 令和元年度 第2回評議員会・第3回理事会開催**
- 令和2年2月12日(水)新潟市中央公民館で、今年度の総括と来年度の事業計画を協議する理事会・評議員会が開催されました。
- 協議内容**
- 1 令和元年度会務報告
 - 2 令和元年度決算見込み
 - 3 令和2年度事業計画・予算
 - 4 令和2年度県公民館大

- 5 令和3年度以降県公民館大会の開催地
 - 6 当面の課題について、等が協議され、承認されました。
- 当面の課題については、県公連の在り方を含めて事業や負担金の見直しを検討する委員会を立ち上げて欲しいという要望があった。また、公民館月報編集委員会から、公民館だよりを紙ベースからデータ配信に



していくよう提案があり、承認されました。

お元気ですか

「市民の山登り愛好者」
歩んだ二十年

広瀬 仁
(員附市)



冬のやわらかい日差しの中、水田地帯の農道でウォーキングを楽しみながら雪を被った守門岳、粟ヶ岳そして長岡の東山連峰の山々を眺めながら歩く喜びを味わっている今日この頃です。

私の住んでいる地域の公民館の要請で設立した「見附日帰り登山を楽しむ会」という中高年者の皆さんを中心とした登山サークルも、二十年の歴史を刻むことができませんでした。今回、記念誌の出版と写真展を開催し、会員として山行に参加された延べ約七千人の市民と、山登りを楽しんだこと、無事故で終わったことを喜んでいきます。

長年の活動の中で、NHK教育テレビ番組「趣味悠々」で放映された「日帰り登山で基本を学ぶ」シリーズの「五頭山編」に出演する機会があります。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

「この番組は登山家として有名な岩崎元郎さんが、自的に登る地元のパートに同行する形をとり、低山山行の中で基本技術を学ぶという番組でした。県内で唯一私達が選ばれて、嬉しいやら緊張するやら長き思い出となりました。また、中央公民館で岩崎さんの「登山も人生も基本が大切」という題で、大勢の聴衆者を集めて講演会を開催させてもらった思い出もありました。公民館職員の皆様、これからもよろしく願います。

information シニアカレッジ新潟 令和2年度 学生募集

- 1 入学資格
県内に居住するおおむね60歳以上の方で学習意欲の成果を地域活動に役立てるなど社会参加意欲のある方。
- 2 申込方法 (以下のいずれか)
①ホームページ
【シニアカレッジ新潟 <http://www.fukushiniigata.or.jp/koureiisha/>】
②「入学申込書」(令和2年2月末完成)の郵送。
- 3 募集期間
令和2年3月2日(月)～4月3日(金)
- 4 入学者の決定
・募集定員を超えて申込があった場合は、締切後に抽選のうえ決定。(先着順ではない。)
・実践講座については、応募者多数の場合は、基礎応用課程2年間修了者を優先。
・結果は、5月上旬までに応募者全員に文書で通知。
- 5 基礎応用課程(2年制)

	1年次	2年次
期間	5月下旬～10月下旬(計13日)	4月下旬～10月下旬(計14日)
時間	基本、13:00～16:00(うち5回程度)	10:00～16:00の日あり
募集定員	新潟会場:A・Bクラス各60名 長岡会場:50名、上越会場:30名	
会場	新潟会場:新潟ユニオンプラザ(新潟市中央区上所2-2-2) 長岡会場:アトリウム長岡(長岡市弓町1-5-1) 上越会場:高陽荘(上越市西城町3-6-22)	

主な講義	内容	期間	会場
・身近な法律問題 ・薬と健康 ・交通事故防止と地域安全活動 ・気軽にできる健康体操 ・社会、人のつながりと健康長寿 ・救命救急の基礎 ・社会福祉サービスの基礎 ・介護の基本と認知症 ・自己表現と関係づくり ・生きがい探しと地域づくり 他	・高齢者と税金 ・暮らしのための整理整頓術 ・賢い消費者 ・新潟県の歴史 ・健康づくりと食物 ・口腔ケア ・認知症、転倒、ストレス予防と対策 ・自然災害と自助力、共助 ・目の健康維持の秘訣 ・地域活動・ボランティア活動 他	【計17講座】	【計17講座】
受講料	年額6,600円		

コース	内容	期間	会場
家庭の防災・地域の防災再考	普段から家庭や地域でできる災害への備えや災害時の対応について学ぶ。	8月～9月(計3回)	新潟ユニオンプラザ
まちかどふれ愛英会話	英会話初心者を対象に、簡単な英語表現や発音などを気軽に学ぶ。	6月～7月(計4回)	アトリウム長岡
暮らしと環境食育	新潟の食文化を学び、生産者との交流などを通じた地産地消を考える。調理実習も行う。	6月(計3回)	上越市市民プラザ

7 問い合わせ・申込先
社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
地域福祉課(シニアカレッジ新潟事務局)
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニオンプラザ3階
TEL 025-285-1400 FAX 025-285-0303
メール oasis@fukushiniigata.or.jp

編集後記

今月号で令和元年度の公民館月報も最終号を迎えました。これまで各市町村の月報担当者の皆様やご寄稿いただきました皆様に心より感謝申し上げます。来年度から「公民館だより」となつて年6回の発行となります。

国や県の動向等の情報を提供する機会が少なくなりますが、HPやラネット公民館等を活用し、皆様にお知らせするように努めていきたいと思っています。これからも公民館活動に役立つ情報を発信していきますので、よろしくお願いいたします。(広瀬)